

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI
BRASILEIRO S.A.

Treasury Department

マーケットサマリー

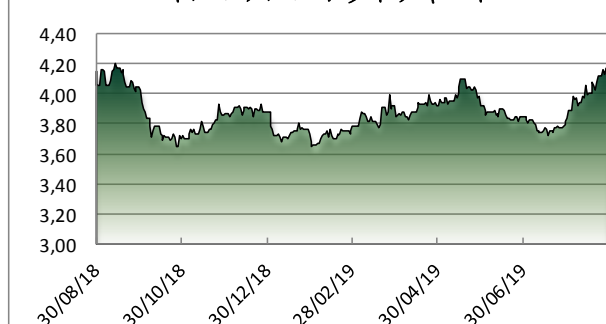
金曜日の相場は、終日落ち着いた展開となった。9月1日からの米国の中国からの輸入品に対する関税発動を控え、米国株式は家計に対する輸入関税の影響を見極めようとするなか、日中は見合いの展開。ブラジル市場においてもドルレアルは終日落ち着いた動きとなり4.13ドルを一時的に下回ったが、4.14ドルで取引を終えており、ボベスパ指数も101,000ポイントを回復し、前月からの下落を0.7%に抑えた格好となっている。発表された7月の米国個人消費支出は前月比+0.6%（市場予想+0.5%）と伸びが加速し、個人消費は堅調を維持しているが、8月ミシガン大学消費者マインドは89.8ポイント（市場予測92.4ポイント）とトランプ政権発足以降で最低の水準となり、個人消費の先行きについて不安が残る結果となっている。ブラジルでは7月の純負債がGDPの55.8%（市場予想55.4%、6月55.2%）に上昇しており年金改革法案や税制改革の進展に期待したい状況に変わりはない。今回の追加関税ではアパレルや履物などが対象となっており、玩具やスマートフォン・ノートPCへの15%の関税は12月15日に延期となっているが、既に25%の関税を掛けている他の中国製品2500億ドル分については、中国建国70周年である10月1日から30%引き上げる予定であり、9月も依然として目が離せない状況は変わらない。中国からの輸入品1100億ドルに対する関税発動を控え、トランプ大統領は譲歩の姿勢は特段見せておらず、すべての国が貿易戦争の影響を受けているなか、9月は中国と米国の閣僚級協議が開催されるかに注目が集まるだろう。

マーケットデータ

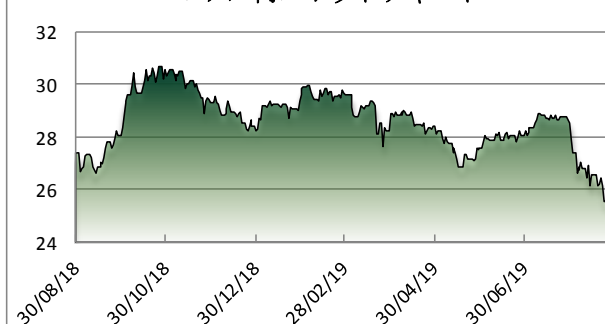
Indicator		Unit	8月29日	8月30日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	4,1706	4,1453	-0,61%	9,35%	3,6374	4,1941
	対円	JPY	25,54	25,64	0,39%	-10,51%	30,08	25,22
	対ユーロ	BRL	4,6118	4,5567	-1,19%	7,74%	4,1646	4,6508
円	対ドル	JPY	106,52	106,28	-0,23%	-2,15%	104,46	112,40
	対ユーロ	JPY	117,78	116,83	-0,81%	-3,57%	116,41	127,50
Bovespa（ブラジル株価指数）		Index	100.524	101.135	0,61%	-1,75%	106.650	87.536
CDS Brazil 5yrs		bps	138,10	135,55	-1,85%	7,21%	209,52	124,06
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	7,53	7,43	-1,33%	3,22%	9,34	7,15
DI Future Jan20（金利先物）		%	5,47	5,42	-0,91%	-2,61%	6,69	5,37
3 Months US Dollar Libor		%	2,13175	2,13763	0,28%	-5,13%	2,8039	2,1174
CRB Index（国際商品指数）		Index	172,08	170,36	-1,00%	-4,48%	189,68	167,38

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。